

小学校通学区域における意見

(※は通学路に関するもの)

番号	学校名	PTA(役員)の意見	学 校
1	畝傍南小学校	<p>①西池尻町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学にあたっては白樫北小が近くていいなあと思っていたが、今は通っている学校がよい ・入学時期の新しい方は遠いし電車通学であるため、白樫北小がよいのではと考えている ・駅のホーム上での転落事故が心配である <p>②見瀬町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R169号線の交通量が多いので心配である ・見瀬町の南の端からの通学で遠いと思うが、明日香小・畝傍東小へと考えた場合に、ほぼ距離は同じであるため、同じことである ・私も小さい頃通学していたので、このままで良い <p>③畝傍町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電車賃が高く、畝傍北小が近いのになぜかと思った そのため校区内で徒歩通学可能な場所を探して引越した <p>④吉田町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校は畝傍南小でいいが中学校は遠すぎるため、光陽中へ通わせたい <p>⑤久米町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校からの距離も程よい状態で大変良い 	<p>○学校からの距離によって意見が違ってくる</p> <p>○西池尻、吉田、畝傍は現在の校区については、課題は大きいとは感じられないが、電車通学における安全性が問題である</p> <p>○引越してきたときや入学時の保護者については、近くの学校へと思っているが、なれてくると今のままでよいという意見がある</p>
2	畝傍北小学校	<p>①四条町4(新町)の児童と小房町の児童が通学途中で交差している</p> <p>②畝傍町の児童は電車で遠くの畝傍南小へ通っている</p>	<p>○通学区域の在り方は、先を見据えた総合的な判断と同時に、歴史的・教育的・経済的・政治的配慮も必要となり、非常に難しい問題である</p>
3	鴨公小学校	<p>①交通量の多い道路を横断して通学する不安もあり、できれば大きい道路で校区を考えてほしい(カルム八木)</p> <p>②鴨公小校区と晩成小校区の境を165号バイパスにしたら、安全に通学できる</p> <p>③2つ(鴨公小と晩成小)の小学校の間の家は、自分で選択して学校を決めたい</p>	<p>※危険箇所をどのように取り除くかについて、PTAや地域自治会、地域住民等と相談し、改善を求めている</p> <p>※安全性・利便性に関わる取組は、継続的になされている</p> <p>○縄手町から通学する児童については、目の前に晩成小学校を見ながら、本校へ通う児童が200m圏内に9家庭ある 本校の立地も縄手町であるし町内を分断することは、将来の地域共同体のつながりを保つためにも好ましくない</p>

番号	学校名	PTA(役員)の意見	学 校
4	晩成小学校	<p>①「通学区域をかえてほしい」という声は出ていない</p> <p>②同じ内膳町同士のつながりがあり、4丁目の児童が他の小学校へ行くのはかわいそうである</p>	<p>○保護者の様子を聞き、子ども同士の友だち関係を考えた結果、今まで通りの校区を維持してほしい</p> <p>※学校から遠い地区については、安全面での十分な配慮が必要であるので、PTAや見守りボランティアの協力体制を強化していきたい</p>
5	耳成小学校	<p>①通学区域に関する質問や要望は受けていない</p> <p>②幼稚園入園時、近所同士で同じ幼稚園に行くと思っていたのに、違う公立幼稚園に通うことになること分かった</p> <p>③新賀町の子ども会では、秋祭りなどを耳成小学校と耳成西小学校の行事を考えて計画している</p> <p>④近鉄百貨店東側の地域で、耳成・耳成南・晩成の小学校区の境目が入り組んでおり、登下校時に道を挟んで行き交うことがある</p>	<p>※八木駅に近い新賀町あたりはマンションが多く、将来的に児童数が減ってくると、登下校時の安全面が懸念される</p> <p>○現在24号線を境に校区が分けられていること、また米川の南側から通学する児童も多いので問題はないと考える</p> <p>○児童数の変動により、通学路を検討する必要があるが、現時点で通学区域についての問題はないと考える</p>
6	今井小学校	<p>①兵部町 今井町の一部と認識している 晩成小学校に通学するという事は、論外である</p> <p>②四条町小泉堂 四条町小泉堂はかつて畝傍北小学校に通学していたこともあるが、距離も遠く畝傍北小学校に通うということは、全く考えていない</p>	<p>○現状の通学区域については、問題はない</p>
7	真菅小学校	<p>①通学距離が遠い(大谷町、慈明寺町、寺田町)距離的には近くに他の公立小学校がある</p> <p>②校区の境界がわかりにくい ・地黄町のダイアパレス付近 ・曾我町の近鉄真菅駅付近 ・北妙法寺町のオークワ駐車場北側付近</p>	<p>※児童の安全に対しては、集団による登下校を実施している</p> <p>※登下校時に教職員・PTA役員、地域福祉委員会等との連携を図る中で、国道の横断や危険箇所と考えられる場所で立哨指導にあたっている</p>
8	金橋小学校	<p>①現状維持</p>	<p>○校区は南北に長く、通学する児童の負担は大きいと思われるが、現状維持でよい</p>

番号	学校名	PTA(役員)の意見	学 校
9	香久山小学校	①「木之本町は鴨公小学校区と接していますが、今のままで香久山小学校に通うのがいい」という意見	○南山町、戒外町、南浦町の合計6人の児童については、通学路を設定しているものの部団の人数が少なく、歩くと40分かかる道中が危険であり、通学に時間がかかるという理由で保護者が自家用車による送迎をしている
10	新沢小学校	①特に問題ない ※通学路の危険箇所等安全面については、把握している	○通学区域を見直す事項はない
11	白樺南小学校	①特に問題ない	○現状の通学区域については、問題はない
12	耳成南小学校	①常盤町の一部の児童が中和幹線を横断しなければならない ②木原町の一部で他の小学校にやや近い家庭があるが、本校までの通学距離はさほど遠くない ③中和幹線を横断することに多少の危険は伴うものの、見通しもよく横断歩道もある ④通学区域の変更について ・一つの自治会の中で違う小学校に通学するため、自治会活動等での弊害がでる ・以前からの住民はなじみのある学校であり親も本校に通学していたので、親子で違う小学校に通学することには素直に同意できない ・転居してきた住民は、学校や地域の環境等を考えて今の校区に転居してきたため、今になっての校区変更は納得できない人も多いだろう というような意見が出された	○校区変更は自治会も関係してくる大きな問題である ○児童の増加による分割の場合はやむを得ないが、校区変更は得策ではないと考える

番号	学校名	PTA(役員)の意見	学 校
13	真菅北小学校	①意見は特にありません	<ul style="list-style-type: none"> ○近鉄真菅駅北側の東西に走る道路の一部(中曾司町)が、本校と真菅小学校の通学路となっている ○土橋町バイパス交差点沿いのハイツの建っている所は本校の校区で、その建物の東側は真菅小学校区である ○豊田池の北側は本校区で、西側(北妙法寺町)は真菅小学校区となっている 豊田グリーンタウン南側の大宮ハイツの子ども達は本校に通っているが、耳成西小学校にも近い区域となっている ○真菅北小学校、真菅小学校として校区割りをされているが、真菅地区自治会として運営されている ○上記のような事実があるが通学区域を見直す事項に該当しないと考える
14	畝傍東小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①本校の校区は広く、個人的にみて家から学校まで遠い児童もいるが、通学区域に関しては特に問題ない ②横断歩道を通って通学する児童たちもいるが、安全に気をつけて通学してくれているので、今のままでよい ③大軽町の一部で畝傍南小学校の方が近いと思われる所もあるが、自治会との関係もあり、今のままでよい ④本校区は校区の真ん中あたりに位置するので、全体的に見てどの区域もあまり遠い近いはない 	<ul style="list-style-type: none"> ○通学区域に関して、ほとんど問題はないと考えられる ○五条野町を中心にハイツなどが建てられ、児童数が増える可能性もあるが通学区域を変更する必要はないと考えられる
15	白櫃北小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①白櫃町・現状で満足である ②鳥屋町や南妙法寺町 本校の新設に伴い畝傍南小から分離合併したが、その際該当保護者だけでなく地域住民も十分話し合わせ、賛同された 現状で満足である <p>※通学の安全面において、分離信号機への変更を切に要望している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○通学区域は現状で問題はない ○通学区域が地理的に納得できるものである
16	耳成西小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①新賀地区の国道24号より西側は、本校の通学区域である 子ども会は耳成小学校区にある本村と足並みをそろえている 学校行事の時期が一致しないこともあり不自由なときもある しかし校区の変更を求めるほどではない ②近鉄八木駅北側において、新賀地区から本校に通う児童と内膳地区から晩成小学校へ通学する児童が交差する部分がある 不自然であるので校区変更という考え方もあるだろうが、我が子が在学中に変更になるのは賛成できない 	<ul style="list-style-type: none"> ○耳成小学校から分離するとき、交通量が多く事故が心配される24号線を境に分けられたそうだが、今も変わらずその交通量は多いので、このままが妥当であると思われる ○24号線以西の内膳地区については、通学時地下道を使えるので事故の心配は少なく、内膳地区全体の地域共同体としてのつながりを保つためにも、現状がよいと思われる <p>※通学時の児童の安全性や利便性を損なうようなところがあれば、今後も継続して取組を続けていく</p>